

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 ゆうあい グループホーム

日付 平成19年11月8日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験9年

評価調査員 ケアセンター介護支援専門員経験5年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

帰宅願望が非常に強いAさんに対して、担当職員が「帰宅支援」をしている。Aさんのこのホームから相当離れた所にある自宅まで、月1回県外に住む娘と連絡を取り合っており、職員は送り迎えをする。Aさんは、帰りたい自分でしばらく娘と暮らせる幸せを満喫できる。この話を担当職員の顔は、「大変さ」よりも「その母娘に喜びを提供していること」に嬉しさと誇りに満ち溢れているようだった。

誰かが傍らに居てくれないと落ち着かず、頭が割れるように痛くなるBさんには、他の利用者への配慮も気にしながら、職員が必ず寄り添っている。家族もとても協力的で、家族に出来ることをしているし、今日は毎週1回訪問してくれている近所のボランティアさんと楽しそうにお喋りしている。

このように「どうしたら皆さん一人ひとりの思いや希望が叶えられ、このゆうあいグループホームで満足した毎日を送っていただけるか」日々思い悩み、相当なレベルまで達している今のケアの質に満足しないで、「さらに、さらに上へ」と願う管理者の努力には、家族の立場として、頭の下がる思いがする。

この管理者を大きく後から支えているのが、医療法人敬和会の理事長だろう。「会話と笑顔が何よりの薬です。笑顔が出るような接し方をするよう、いつも職員に言っています」と話してくれる理事長は80歳。「先生のお顔を見られるのが何よりの薬です」と利用者にも慕われている。認知症ケアにもとりわけ理解が深く、管理者・職員の「さんへの特別支援」に対しても大らかに温かい手を差し延べている。

より良いケアを目指せば目指す程、職員の負担は大きくなり、利用者の状態の重度化も加わって管理者の悩みは多いが、職員は、必要な人には夜必ず添い寝する等、心一つにしてとてもよく頑張っている。家族もこのホームの心意気と温かさを受け止めて、実によく訪問している。「先月の面会は百人を超えています」の管理者の言葉通り、家族・親類・友達・近隣の人達が次々と顔を見せている。今日出会ったボランティアさんも「Cさんは、ここに来られた時は話す事も全然できなかったのに今では・・・」と詳しく教えてくれた。このホームにずっと居続けても「まだ居りたいなあ」と思うホームである。

特に改善の余地があると思われる点

職員の利用者への思いが非常に強いいため、心身の衰えに対して悔しさや自分達の力の限界を感じ過ぎていませんか。反省は次へのステップの踏み台となりますが、精一杯頑張った後は、気持の切り換えと新しい視点からの挑戦を試みて下さい。

他のグループを訪問したり、交流のチャンスを増やす事をお勧めしたいと思います。研修等では得られない事があると思います。このホームの良さも、もっと分かるのではないのでしょうか。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…一人ひとりを大切に、住み慣れた地域で、個々に応じた生活への支援は、理念通り良く実践できていると思う。「利用者の希望や自己決定を大切にしたいが十分ではない」という自主評価については、このホームが第一に目指す事として今後も注目し続けて欲しい。それぞれの状態での方法や取り組み方は今後の課題だろう。</p> <p>2、全体的に見て…「洗濯は自分で」「仲良し二人が枕を並べて寝る」「宿泊家族の受け入れ」その他、他のホームではあまり聞かれないような個別支援が、ここでは当たり前のようにできている。また、暮らしの軸を「楽しんで食べる。それが生きることにつながる」に置き、例えばDさんの「の焼き鳥が食べたい」も実現させて喜んでもらっている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…自主評価では「今以上に出来る事を支援して、ここで安心して落ち着いた暮らしを」と願っているが、Eさんの趣味の布の鼻(ふくろ)作りを担当職員が懸命に支援しているように、よく出来ている。もちろん、今後もこういった支援はさらに発掘し、表に出して欲しい。</p> <p>2、全体的に見て…ホームを訪問する前に周辺の様子や建物の外観を見ていた時、屋根の曲線に心を奪われた。ホームに入ってみると、建物の中の柔らかなうねりと色調が、私に何かを訴えかけてくる。後に気が付いたが、「笑う」という字に通じるものがあるのを感じた。ホーム自体が微笑んでいる。職員が笑うから、皆さんも笑っている。間もなくお隣りに保育園が出来ると言う。園児を見て、また笑顔が増えていくことだろう。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…「利用者一人ひとりの過去の経験を活かして自分らしく暮らしていただきたい」という管理者・職員の強い願いがしっかり伝わってきた。以前は活発に毎月のように実施されていたという自主的な「ゆうあい住民会」も、形は多少変化しても良いので、その伝統は引き続いておいて欲しい。このホームが「このホームらしくあり続ける」ために。</p> <p>2、全体的に見て…「みんな一斉に体操を」といった事はしていないが、個別に必要なであればホーム内や病院でリハビリをしている。開設以来個別に作り続けているアルバムを介して楽しくお喋りしたり、Eさんの白寿のお祝いのビデオを皆で見てワイワイとその時の話をする等、生活の中で楽しみながら心や身体の活性化を図っている。もちろん、出来る人に出来る家事もしてもらっている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…「家族や地域との交流も順調に進んでいて特に改善項目はないが、せっかく素敵な趣味の作品が出来ているので、発表の場を見つけ出したい。</p> <p>2、全体的に見て…「ホームでのご様子」という担当者がそれぞれに工夫して食事内容その他記入したノートが素晴らしい。家族からのメッセージもその日の頁の下方に書かれている。各居室に置いてあり、交換日記のようにになっている人もいる。こういった交流がどのように成功している例はあまりない。Fさんのノート・NO3で最期の看取り経過も見た。また、運営推進会議も定期的に開催され、良い効果をあげている。駅前交番の巡査部長さんも出席の予定という。家族会の家族代表の人も「職員皆さん、無理のないように。何でも言って下さい」と非常に協力的だ。ホームのしっかりした基盤の上に、手を差し延べてくれる人の多いグループホームだ。</p>		